

【衣類の害虫】

ようやく春が訪れたようです。そろそろ、衣替えの時期ですね。冬物をしまうときには、しっかりとお手入れをして収納しないと、次回のシーズンの時に虫穴があいていたりします。その時に慌てても、もう手遅れです。

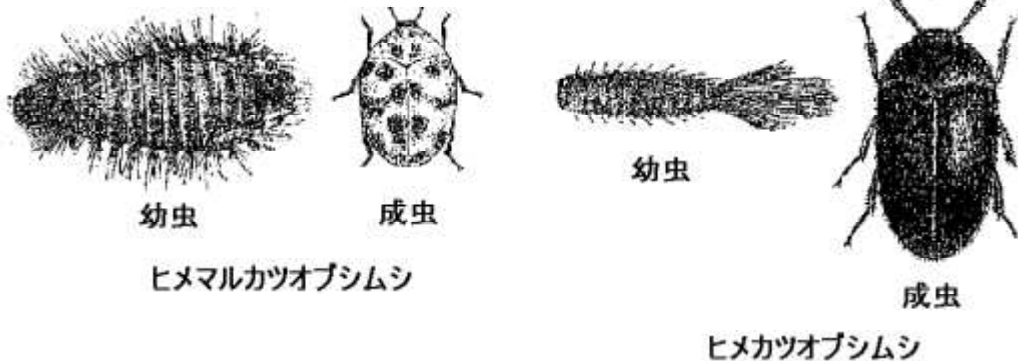
今回は、衣類の害虫がテーマです。

《虫の正体》

衣類を食べる虫は、「イガ」「コイガ」「ヒメマルカツオブシムシ」「ヒメカツオブシムシ」これらの幼虫が、繊維を食べるのです。

《ヒメマルカツオブシムシ》

体長は成虫で、ほんの4～5mmほどの虫です。



これからの季節は、ヒメマルカツオブシムシが繁殖する季節です。

ヒメマルカツオブシムシは、庭先の花壇やベランダのプランターなどに植えられた、マーガレットなどの植物の花や葉に生息しています。

ですから、マーガレットや観葉植物を育てているお宅は、よく観察してみてください。おどろくほど身近なところに、たくさんのヒメマルカツオブシムシが見つかるでしょう。

《いろいろな所から、やって来ます》

これらの成虫は、衣類を食べません。しかし、この成虫が卵を産み、その卵がかえってタンスの中の衣類を食べるのです。

では、どこからそんな卵がはいるのか？それは、いろんなケースが考えられます。

窓に置いたプランターから、ヒメマルカツオブシムシが直接タンスなどに入り込むコトもあるでしょう。

洗濯して外に干した肌着に付着して、それが室内に入り込み、大好物のウール素材などに卵を産みつけるコトも考えられます。

また、外出したときに卵をもらってくるコトも、実際には結構多いと思われます。

《撃退法》

ご覧の通り、進入経路を断つことは大変難しいです。ですから、虫食い穴防止には、虫をやっつけるしかありません。

やっつけるためには防虫剤です。が、しかし過信は禁物です。現在の防虫剤は、ピレスロイド系が主流です。これは従来の樟脳やナフタリン・パラジクロルベンゼンなどと比べて防虫効果が高く、人体にやさしく、ラメや金糸などにも使え、使い勝手がよいので重宝です。

しかし、まったく無臭なので、有効期限をしっかりとチェックしておかないと、効果が切れているのに気が付かないなんてコトになります。

さらに、ピレスロイドが蒸発して、そのガスが防虫効果を発揮しますので、ガスが行き届くような衣類に隙間がないと効果がおちます。また、気化したガスは空気より重いので、したに沈みます。防虫剤は、上の方に置きましょう。

もう一つ大切なことは、衣類をしまう際にしっかりとお手入れしてから仕舞うようにしましょう。

家庭で洗う場合は、しっかりとアイロンがけをしましょう。

クリーニングの場合は、虫の卵は死滅積ます。

お手入れしてから、タンスに仕舞えば虫の卵を持ち込むコトも防げるでしょう。